

平成 30(2018)年 9 月 28 日 報道発表資料
[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。ロームシアター京都より催物ほかのご案内です。どうぞご注目、ご取材のほど、よろしくお願いいたします。

<トピックス>

- ◆【10/13 チケット一般発売開始】笠井 叡 迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』
- ◆【10/13 チケット一般発売開始】ロームシアター京都×京都市文化会館 5 館連携事業 地域の課題を考えるプラットフォーム「CIRCULATION KYOTO 劇場編」
- ◆【10/20 チケット一般発売開始】ロームシアター京都 レパートリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻(せっしゃうがっぼうがつじ)』
- ◆【取材案内】10/18 開催 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』記者懇談会のお知らせ

【10/13 チケット一般発売開始】笠井 叡 迷宮ダンス公演『高丘親王航海記』

笠井 叡が盟友・湊澤龍彦の遺作「高丘親王航海記」をダンス作品化。
榎本了吉、黒田育世 (BATIK)、近藤良平 (コンドルズ)、寺田みさこら
豪華コラボレーターとの話題作、京都で世界初演！

この冬、ロームシアター京都では初となる、舞踏家・笠井 叡の新作ダンス作品『高丘親王航海記』を上演します。湊澤龍彦の遺作「高丘親王航海記」は平城天皇の皇子・高丘親王の天竺への旅を描いた幻想文学の傑作といわれており、今回、笠井 叡は 21 名ものダンサー、オイリュトミストからなる大スペクタクル作品として演出。また、黒田育世、近藤良平、寺田みさこなど、人気・実力ともにコンテンポラリーダンスを代表するダンサーを迎えるほか、意匠・舞台美術・映像・衣裳に榎本了吉、舞台上の造形物に現代美術家の椿昇など、京都・関西にもゆかりのあるあらゆる才能を集結し、湊澤龍彦の世界を現代によりがえさせます。ここ、京都での世界初演にどうぞご期待ください。

日時：2019 年 1 月 11 日 (金) 19:00 開演、12 日 (土) 15:00 開演
会場：サウスホール

原作：湊澤龍彦

演出・振付・台本：笠井 叡

出演：笠井 叡、黒田育世、近藤良平、笠井瑞丈、上村なおか、岡本優、
篠原くらら、BATIK ダンサー、天使館オイリュトミスト、寺田みさこ (京都公演のみ)
意匠・舞台美術・映像・衣裳：榎本了吉

チケット料金：全席指定 一般 4,000 円 ユース (25 歳以下) 3,000 円

チケット一般発売開始：2018 年 10 月 13 日 (土) 10:00～

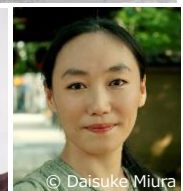
お問合せ：ロームシアター京都チケットカウンター TEL 075-746-3201



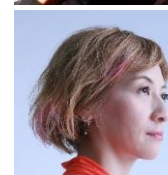
©細江英公



© HARU



© Daisuke Miura



© ひるたえみ

あらすじほか詳細は別添の[笠井 叡 迷宮ダンス公演「高丘親王航海記」プレスリリース](#)をご覧ください。

【10/13 チケット一般発売開始】ロームシアター京都×京都市文化会館 5 館連携事業 地域の課題を考えるプラットフォーム「CIRCULATION KYOTO 劇場編」

5 組のアーティストが京都の中心部を囲む 5 つの地域（山科区・伏見区・西京区・北区・右京区）を出発点に創作し、新作を連続して発表。アーティストは独自の切り口と方法論で都市・京都のすがたを象り、観客が 4 か月にわたって 5 つのエリアを巡る体験を創り出します。

【伏見】中野成樹+フランケンズ『マザー・マザー・マザー』演劇

別役実が約 40 年前に書いた戯曲を引っさげて、“ナカフラ”こと中野成樹+フランケンズが京都初登場。「パパとその街」と名乗る集団の形成と崩壊をめぐる物語は、「街」とは何か？「集団」とは何か？を問いかける。

日時：12 月 1 日（土）18:00 開演、2 日（日）15:00 開演

会場：京都市呉竹文化センター ホール

【西京】村川拓也『タイトル未定』演劇

村川がリサーチの過程で注目したのは、文化会館で数多く開催される「ピアノ発表会」。そこに耳を澄まし目を凝らした先に聴こえてくる小さな物語。人生と音楽が交わる「劇場」で、わたしたちが目撃するものとは。

日時：12 月 15 日（土）18:00 開演、16 日（日）15:00 開演

会場：京都市西文化会館ウエスティ ホール

【山科】相模友士郎『LOVE SONGS』演劇

一人暮らし、公団、川、歌、植物、庭…様々なものを足がかりにしながら今回相模が構想するのは、誰もいない舞台。だが、やがて劇場からは縁遠いらしい、なにかの音が聴こえてくる。相模が山科で実際に生活しながら得た「語り」を劇場に召喚し、劇場空間を満たすとき、わたしたちは何を、そして誰を想像するだろうか。

日時：2019 年 1 月 12 日（土）18:00 開演、13 日（日）15:00 開演

会場：京都市東部文化会館 ホール

【北】遠山昇司 フェイクシンポジウム『京都の深度と広がり—語り継がれるランドスケープ』（仮）シンポジウム/演劇

研究者、編集者、アーティストらが出演者となる“フェイク”シンポジウムを開催。何気ない場所に張り付く物語＝風景の数々。一見して脈略のない地点を想像力によって結びつけ、京都のまちの在り様を周縁から考える。

日時：2019 年 2 月 2 日（土）18:00 開演、3 日（日）15:00 開演

会場：京都市北文化会館 ホール

【右京】きたまり『あたご』舞踊

古くから火の神として京都の人々から厚い信仰を集めてきた愛宕山。芸能にも影響を与え、狂言、舞、落語、和歌などにも数多く登場するこの山への人々の「祈り」に注目し、現代における奉納の舞として、新作舞踊を披露する。

日時：2019 年 3 月 23 日（土）18:00 開演、24 日（日）15:00 開演

会場：京都市右京ふれあい文化会館

チケット料金（全演目共通）：全席自由 一般 2,500 円／5 演目通し券 5,000 円

チケット一般発売開始：2018 年 10 月 13 日（土）10:00～

お問合せ：ロームシアター京都チケットカウンター TEL 075-746-3201

各演目詳細は別添の「CIRCULATION KYOTO 劇場編」プレスリリースをご覧ください。

【10/20 チケット一般発売開始】ロームシアター京都 レパートリーの創造
木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻(せっしゅうがっぽうがつじ)』

ロームシアター京都 × 木ノ下歌舞伎「レパートリーの創造」第二弾！古来より脈々と語り継がれてきた名曲、物語を、“現代の異物”として観客へ引き放ち、わたしたちの生／性／聖を更新する、新たな音楽劇への挑戦。

未永く地域で上演されるレパートリー作品を劇場が生み出すべく、アーティストとタッグを組む「レパートリーの創造」プログラム。昨年10月に『心中天の網島—2017 リクリエーション版—』を上演し、大きな反響を呼んだ木ノ下歌舞伎とのプロジェクト第二弾は、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、KAAT 神奈川芸術劇場との三館共同製作で挑みます。説経節「しんとく丸」や「愛護の若」を元にし、人形浄瑠璃、歌舞伎、文学、演劇と時代により形を変えながらも古来より脈々と語り継がれてきた名曲、物語を、木ノ下歌舞伎×糸井幸之介のタッグが、壮大なスケールをもった音楽劇として現代に紡ぎ直します。

日時：2019年2月10日（日）、11日（月・祝）両日 15:00 開演
会場：サウスホール

作：菅専助、若竹笛躬 監修・補綴・上演台本：木ノ下裕一
上演台本・演出・音楽：糸井幸之介（FUKAIPRODUCE 羽衣） 音楽監修：manzo 振付：北尾亘
出演：内田慈、田川隼嗣、土居志央梨、大石将弘、金子岳憲、伊東沙保、西田夏奈子、武谷公雄 ほか

チケット料金：全席指定 一般 3,500 円 ユース（25 歳以下）2,000 円 高校生以下 1,000 円
チケット一般発売開始：2018 年 10 月 20 日（土）10:00～
お問合せ：ロームシアター京都チケットカウンター TEL 075-746-3201

各演目詳細は別添のロームシアター京都 レパートリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』
プレスリリースをご覧ください。

■関連プログラム「スピノフ！プログラム」のご案内

レパートリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』公演に際して、公演の前後に作品世界が持つ
広さと深さを体験いただき、より親しみを持っていただくための「スピノフ！プログラム」を開催しま
す。公演と合わせてご注目いただき、ぜひご参加ください！

▷古典精読講座「語り継がれる物語、古典への旅」（9月～12月開催）

9/30 開催 第一回 古典の中の恋～『摂州合邦辻』にみる「本心」のありか 参加者募集中！

▷ポスタープロジェクト（10月～2月予定）

▷木ノ下裕一×糸井幸之介トーク＆「心中天の網島—2017 リクリエーション版」上映会

▷まちあるきツアー with まいまい京都

▷ブックレット制作、発行（2019年2月）

▷ワークショップ「古典のことばを現代語訳する」（2019年3月）

内容ほか詳細は別添のスピノフ！プログラムについてのプレスリリースをご覧ください。

【取材案内】10/18 開催 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』記者懇談会のお知らせ

ロームシアター京都 レパートリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』に先立ち、木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一、本作の演出を務める糸井幸之介、玉手御前役を務める内田慈、俊徳丸役の田川隼嗣をお迎えした記者懇談会を行います。当日は公演概要のご説明に加え登壇者によるコメント等を予定しております。会見後、個別取材のお時間もご用意できますので、ぜひご参加ください。

日時：2018年10月18日(木) 14:00～14:45 (受付開始 13:30)

会場：ロームシアター京都 パークプラザ3階 会議室2

登壇者：木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）、糸井幸之介（劇作家・演出家・音楽家）内田慈、田川隼嗣

木ノ下歌舞伎プロフィール

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、主宰である木ノ下裕一が指針を示しながら、さまざまな演出家による作品を上演するというスタイルで、京都を中心に2006年より活動を展開している。主な上演作品に『義経千本桜』（2012）、『黒塚』（13）、『東海道四谷怪談一通し上演』（13）など。『黒塚』は2015年に5都市で再演、翌年にはパリより招聘されるなど、レパートリーとしての上演にも力を入れている。2014年に初演し、翌年再演した『三人吉三』で、読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネートされた。

木ノ下裕一プロフィール



木ノ下歌舞伎主宰。1985年7月4日、和歌山市生まれ。小学校3年生の時、上方落語を聞き衝撃を受けると同時に独学で落語を始め、その後、古典芸能への関心を広げつつ現代の舞台芸術を学ぶ。2006年に古典演目上演の演出や補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『娘道成寺』『黒塚』『東海道四谷怪談一通し上演』『心中天の網島』『義経千本桜一渡海屋・大物浦一』など。2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネートされる。また、2016年に上演した『勧進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。平成29年度芸術文化特別奨励制度奨励者。渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』（2018）の補綴を務めるなど、外部での古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。

糸井幸之介プロフィール



劇作家・演出家・音楽家。1977年東京生まれ。劇作家・演出家・音楽家。2004年に女優の深井順子により旗揚げされたFUKAIPRODUCE羽衣の全作品で作・演出・音楽・美術を手掛ける。全編の7割ほどを演者が歌って踊る、芝居と音楽を融合した独自の作風を“妙—ジカル”と称し、唯一無二の詩的作品世界と、耳に残るオリジナル楽曲で高い評価を得ている。世田谷区芸術アワード“飛翔”2008年度舞台芸術部門受賞。FUKAIPRODUCE羽衣第22回公演『瞬間光年』（2017年上演）にて第62回岸田國土戯曲賞最終候補。多摩美術大学講師。公益財団法人セゾン文化財団シニア・フェロー。

内田慈プロフィール



1983 年生まれ、神奈川県出身。日本大学芸術学部文芸学科中退後、演劇活動を開始。前田司郎（五反田団）、三浦大輔（ポツドル）、前川知大（イキウメ）、岩井秀人（ハイバイ）、ペヤンヌマキ（ブス会）ら新進劇作家、演出家の作品にいち早く出演し、頭角を表す。08 年、橋口亮輔監督「ぐるりのこと。」でスクリーンデビュー。その後は「ロストパラダイス・イン・トーキョー」（白石和彌監督）、「恋の罪」（園子温監督）、「きみはいい子」（呉美保監督）、「恋人たち」（橋口亮輔監督）、「下衆の愛」（内田英治監督）、「葛城事件」（赤堀雅秋監督）、「神と人との間」（内田英治監督）、「ピンカートンに会いに行く」（主演／坂下雄一郎監督）など話題の映画に次々と出演。TV では「リバースエッジ 大川端探偵社」、NHK 連続テレビ小説「まれ」、「ハロー張りネズミ」などに出演し好評を得る。舞台・映画・ドラマ問わず一癖も二癖もある女性をリアルかつコミカルに演じ、各作品に独特の説得力をもたらしている。木ノ下歌舞伎には初参加。

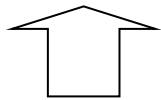
田川隼嗣プロフィール



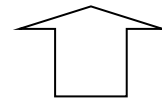
2000 年生まれ、長崎県出身の高校 3 年生。2014 年度「第 27 回 ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト」審査員特別賞受賞。その後は AbemaTV「真夏のオオカミくんには騙されない」（2017）にレギュラー出演、シス・カンパニー公演『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』（2017）にて舞台初出演、本年 10 月 5 日から上演が始まる舞台『いまを生きる』に出演、活躍の場を広げている。本作が舞台 3 作品目にして主演男性の座をオーディションで射止めた。

<取材案内>

御多忙とは存じますが、是非とも取材いただきますようご案内申し上げます。取材いただける場合は、大変お手数ではございますが、別紙の出席確認票をFAXにてロームシアター京都（送付先：075-746-3366）に送付いただきますようお願い申し上げます。 **返信締切：10 月 15 日（月）17:00**



ロームシアター京都 宛



FAX:075-746-3366

【取材案内】10月18日（木）開催
ロームシアター京都 レポートリーの創造
木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』記者懇談会

- (1) 日 時 平成30年10月18日（木）14:00開始
(2) 場 所 ロームシアター京都 パークプラザ3F 会議室2
(3) 登壇者 木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）、糸井幸之介（劇作家・演出家・音楽家）
内田慈、田川隼嗣

御芳名	
媒体名 貴社名	
TEL	() — ※当日連絡可能な連絡先 () —
FAX	() —
撮影希望	撮影される場合○をつけてください。 スチール / テレビカメラ (台)
備考	個別取材（各社2～30分を予定）を希望される場合もこちらにご記入ください。

- ◆平成30年10月15日（月）午後5時までに 本票をFAXにて（075-746-3366）送付願います。
- ◆駐車場はございません。公共交通機関を御利用いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場を御利用ください。